群弓連だより

125号

令和７年３月

群馬県弓道連盟　　発行人　飯塚勝亮

第三回【先生、お話聞かせて！】

甘楽町・小幡城跡の名勝楽山園の中にあり、その美しい借景の中にある手入れの行き届いた弓道場が甘楽弓道場です。「矢取り道を土足で歩くのをためらう」とお聞きしたことがありますが、実際に目にした甘楽弓道場はその噂に違わぬほど綺麗で明るく清潔な道場でした。

今回はそんな素敵な道場の会員の方からの推薦で、錬士五段・吉澤宣江先生のお話をお伺いする機会をいただきました。

[推薦者：秋本さん]

先生が素敵なのは特別な射技ではなく、弓に対する思い、熱意を感じるからです。特に立ち居振る舞いがとても勉強になります。弾一個着けるにしてもどんなに寒くても廊下でちゃんと装着していらっしゃいますし、先生は道場に来たらまず最初に給湯室や矢取り道の掃除などを真っ先に行ってからご自分のお稽古の支度をしていらっしゃいます。吉澤先生がいらっしゃらなかったら、甘楽の道場はこんなに綺麗な状態を維持できるか…。先生が道場にいらっしゃるだけで頑張らなくてはという思いになります。

吉澤宣江先生

【吉澤宣江先生】

甘楽道場の落成時から弓道を始めましたので、30年この道場とともに先輩方に育てていただきました。弓道を始めたきっかけですか？初めてこの道場で見学をさせていただいた時が初射会の時で、肌脱ぎや襷かけの所作を見たときに「こんなに寒いのになんて素敵なんだろう！」と感動し、そのまま入会しました。

あれから年を重ね、この道場内では最年長になり弓はあまり引かなくなってしまいました。それでもこの道場への思い入れは特に強く、また大変よくしていただいた先輩方の意思を継がなくてはと道場や道場の周りくらいは綺麗にしておこうと心がけております。もちろん私一人だけの行いではなく、甘楽道場会員の皆様の努力の積み重ねだと思っております。

ねんりんピックなども昔は何度か全国大会に出場させていただいたりもしました。最近ではシニアの大会にも参加しておらず、さみしい思いもすることもありますが、群弓連だよりなどを拝見させていただき、見知った方々のご活躍を喜んでいます。

いまでは射技の指導などはあまりできませんが、体配の重要性は常にお伝えしています。射は年齢とともに変わっていくのが普通ですが、体配は一度覚身についてしまえばなくならな

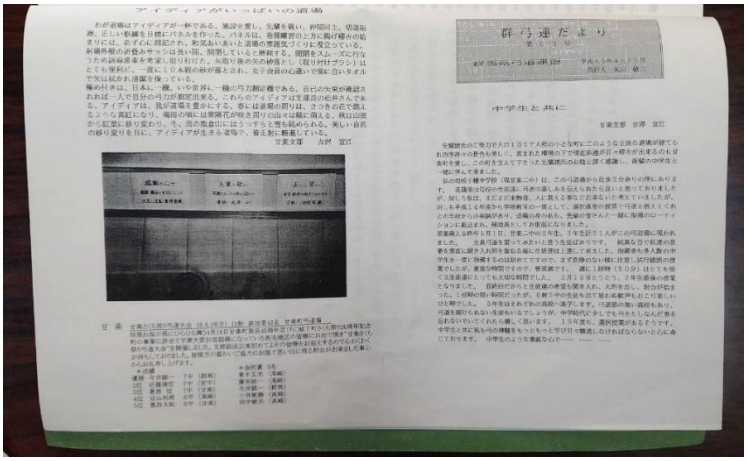
第三回　【先生、お話聞かせて！】 ･･･１　　編集後記、お知らせ ････　２

いものです。私はもう人前で引くのも恥ずかしいと思ってしまうようになってしまいましたが、それでも体配が綺麗な人を見ると自然と射も綺麗に見えてくると思っておりますので、これからも体配の指導だけでも出来たらいいなと考えております。

教本も最初の頃は意味が分からなくても、何年も経ってから理解できるようなこともありますし、今分からなくてもいつも読み込んでおくと良いと思います。そのようなことをいつも考えておりますので、年齢を重ねてほとんど弓は引かなくはなってしまったけど、やっぱり弓が好きなのでこの道場へ来て生意気を言ってるんですよ。

道場の会員の方がご縁のあった英国弓道連盟会長や国際弓道連盟理事を務められましたリアム・オブライエン先生(享年 69 歳：教士七段)にも来ていただいて交流を持つ事なども出来ました。昔は範師の先生も沢山いらっしゃいましたし、ここは城下町ということもあって弓道家だけでなく陶芸家や絵描きなどの芸術系の方々とも多く交流のあった道場なんです。

４月のさくら祭り「武者行列」の時期には道場横の枝垂れ桜が綺麗に咲いて、道場になお彩りを添えてもらって、とても幸せな時間を過ごさせていただいています。


群弓連だより

中学生と共に

※何度か群弓連だよりに寄稿してくださっていました。先輩の先生の 10 年史を真似て作成されたとのことですが、綺麗にファイルされていて吉澤先生の几帳面なお人柄がうかがえました。

編集後記

インタビュー当日はとても寒く、県内の場所によっては雪もちらついていましたが、お伺いした際には道場内のお部屋を暖かくしておいてくださり、とても快適にインタビューをすることが出来ました。また、インタビューの最後、吉澤先生に「今度は暖かくなって桜が咲いている頃にぜひ弓を持って遊びにいらして。この辺りは桜がすごく綺麗なんですよ。」と素敵な笑顔でお誘いいただきました。
次回は弓を持ってお邪魔いたします。ありがとうございました。

お知らせ

広報部では各支部の先生方に貴重なお話をお伺いする活動を今後も行っていく予定です。お声掛けさせていただいた先生方、いろいろなお話をお聞かせください。なお、自薦他薦を問いませんので広報部までご連絡いただけますと幸いです。連絡先：koho01@gunkyuren.com

今年度限りで”広報部会”の名称での活動は終了、来期より”システム部会”として広報および県連の DX 化を推進する部会として再起動いたします。今後ともよろしくお願いいたします。
また、長年にわたり広報部会役員として活躍されていた高木さんが今期で卒業となります。
長い間のご尽力に感謝いたします。ありがとうございました。

広報部会：齊藤昌之、髙木正博、稲葉愛、長岡麻子